

## 戦後の暮らしのこと

匿名希望（加西市在住 昭和 23 年生）

祖母から、「（※満州で抑留されていた家族が日本に帰ってきたとき）、「マイズル タツ ○○○」の電報をもらい、生きて帰ってきたと喜んだ」と聞いたことを思い出します。

（※戦時中の）支給品の飯盒でキャンプしたこと、同じく支給品の防寒外套で受験のため夜中まで頑張ったこともありました。我々、終戦子（※終戦後間もなく誕生した子供たちのこと）は、幼少から老人の現在まで苦勞、苦勞の連続で今に至っています。